

転任のご挨拶

本年4月に和歌山平野農地防災事業所長に就任しました小野寺晃宏と申します。よろしくお願いたします。日頃より当事業の推進に御協力をいただき、たいへんありがとうございます。

現在、日本を含めた全世界が新型コロナウイルス感染症という難局に直面しています。当事業所においても在宅勤務等による職員の出勤率削減などの対応を継続しております。関係の皆様方には、何かと御不便をおかけするかもしれませんが、どうか御了承ください。

歴史上、人類を脅かす感染症流行の背景には戦争があり、文明の滅亡まで引き起こしてきました。例えば、アメリカ大陸に持ち込まれたペストが一因となり16世紀に滅亡したアステカ帝国、14世紀のヨーロッパでのペストの大流行は世界各地を侵襲していたモンゴル帝国の軍隊が伝播したと言われています。近年では、経済信奉のみの追求を省み、暮らしやすい社会の実現や自然環境への影響を軽減する等の「持続可能な開発目標(SDGs)」に基づく取り組みが目ざされているところですが、いかなる時代にあっても悪疫なウイルスは、奸風発達の人類に対する警鐘なのかもしれません。

本事業では、大雨等による湛水被害から農地を守るため、排水路や排水機場の整備などを行っています。

引き続き、関係機関の皆様と連携しながら事業を進めてまいります。

工事において御迷惑をおかけしますが、地域の皆様のご理解と御協力をお願いいたします。

所長 小野寺 晃宏



工事進捗状況

令和2年6月時点の完了、実施中工事について紹介します。

1 安楽川井水路 (C水路)

(紀の川市)

平成27年より紀の川市宮安楽川井道路整備工事(水路沿いの市道拡幅)と共同施行による水路改修工事を行っております。昨年度は安楽川小学校横と県道3号線の西側について施工を行い完了しました。今年度も引き続き、工事を実施する予定です。



県道西側の工事完了状況
水路(暗渠)
水路を暗渠化することで道幅が広くなりました。

2 千日樋門 (和歌山市禰宜)

(しがい)

四箇井水路及び宮井水路の周辺で発生している湛水被害の軽減を図るため、両水路から紀の川(千日樋門)に繋がる排水専用パイパス水路の設置及び既設千日樋門の改修(流下能力約11倍)を計画しています。現在、千日樋門の改修に取りかかっており、河川内に仮堤防(仮廻し道路)の設置を行っているところです。

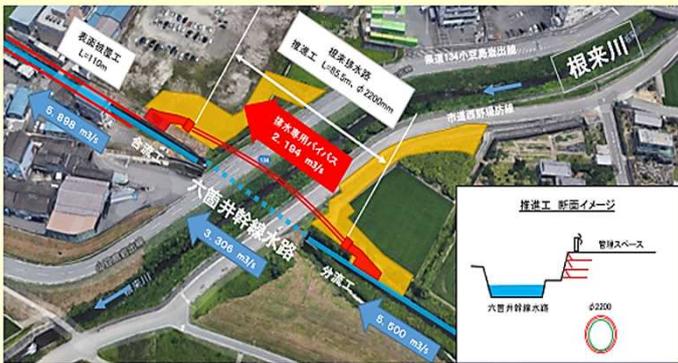
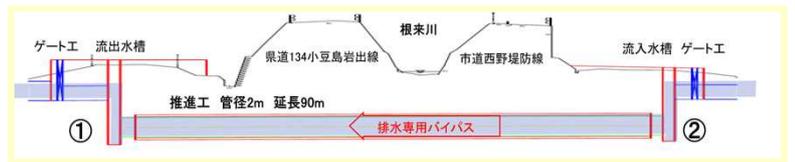
千日樋門の改修は令和3年3月に完成予定であり、引き続きパイパス水路の工事を行っていく予定です。



3 六箇井水路 (根来排水路) (岩出市)

(ろっかい)

岩出市西野地内において、大雨の際の浸水被害を軽減させるため、六箇井水路の根来川横断部分に排水専用パイパスを新設する工事です。工事は今年度末に完成予定です。



コロナウイルス 対策

本事業所の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策への取り組みと、現在の状況について紹介します。

4月7日に発令された緊急事態宣言を受け、本事業所では職員を2チームに分け、一部の職員は別室での勤務とし、緊急事態宣言が全国に拡大された以降は、各課1名ずつ毎日1名、所長・次長はいずれかが、在宅勤務・休日出勤として出勤率を低減してきました。

また、会議では2m間隔を空けての着席やWEBの活用、マスクの着用等、事業所全体で3密防止に取り組んでいます。

GW明け5月7日以降は各課毎日1〜2名約5割の出勤者削減を実施しました。

緊急事態宣言解除後も、引き続き出勤者削減を実施しますが今後一定割合は、在宅勤務等による働き方を継続していく予定です。

